

2020,10,7

## 天狗堂の準備に行きました

木地師発祥の地、東近江の君ヶ畑を訪ねます。高島（市）郡に移り住んだ轡轡師は、小椋庄の蛭谷より、領主朽木氏の命を受けて、館内の材木を伐採、盆、椀などの木地を造った。木地山では、ブナ・栃・桂・イズクメ・樺・クロマメの6種の木が伐採された。その木地師のふるさとのお山を探访します。みなさまのご参加をお待ちしています。

### ◆コースの様子



大皇器地祖神社



登山口



綺麗な樹林 1



2



筒井峠分岐



天狗堂山頂



展望台



御池林道へ



御池林道に下山



駐車場に戻る

### ◆歴史

木地師発祥の地、東近江「小倉谷」

小倉谷は、山間部の奥永源寺地区にあり、君ヶ畑、蛭谷、箕川、政所、黄和田、九居瀬の6町で構成。平安時代には、分徳天皇の第一皇子の惟喬（これたか）親王が村人にろくろの技術を伝えたのが始まりとされており、小椋谷の木地師が良材を求めて各地に移り住んで文化や技術を広め、日本の木工文化の礎になったという。

木地師の祖神として惟喬親王を祭った大皇器地祖神社や筒井神社、惟喬（これたか）親王が暮らし「高松御所」と呼ばれる今龍寺などがあり、それらの社寺が各地の木地師からの要請に応じて往来手形や免除を発行し、木地師と移住先との紛争解決にあたるなど木地師の保護と統制を行ってきた。